

令和7年度

赤羽根の里だより

茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り

令和8年3月16日(月)

校長 高橋 励



Dear Student(*^~*) お互いの命を守るため

～AED講習会(2年生)～

さて、赤羽根中のAEDはどこにあるでしょう？
3月13日(金)の午前中で茅ヶ崎市消防署の
方を講師に招いて、心肺蘇生法・AEDの講習を
受けました。

心肺蘇生法

もAEDも、
自分のピンチ
に自分自身に
使うことはでき
ません。



でも、だれか
のピンチにだ
れもが協力し救命活動を施せるのなら、方が一
の時にあなたが救われる確率はグッと高くなるは
ず。だれかの命を守る知識や技術は、巡り巡っ
てあなたの命を守ってくれるもの。

ところで、胸部圧迫は何回で1セット？忘れて
いたら確かめておきましょう(*^_~^*)

Dear Student(*^~*) 「よい卒業式でしたね」

～第40回卒業証書授与式～

「有終の美」を飾る卒業生の姿にたくさんの
ご来賓の方々から上のことばをいただきました。
会場の都合で「卒業生代表のことば」をその
場で聴けなかったあなたに向けて、裏面に当日
卒業生代表が語ったことばを掲載します。

バトンを受け取るものとして、メッ
セージを受け止めてください。



～保護者・地域の皆さまへ～

ちいきぎょうじ びじゅつぶかつやく 地域行事でも美術部活躍!

～第41回松林公民館まつり～

3月7日(土)、8日(日)の2日間で開催され
た松林公民館まつり。施設の位置的に松林中学
校の吹奏楽部や邦楽部がステージ発表するな
か、2階展示室で茅ヶ崎支援学校や松林中学
校美術部と一緒に作品を展示させてもらいま
した。赤中ジャージを着て会場の運営にも参
加してがんばっていましたよ。



Dear Student(*^~*) 新たな伝統のはじまり!?

～放送部主催・朗読会～

日々昼の放送を研鑽の場としている放送部
が、外部指導者の方の進行で、14日(土)に朗
読会を開催

しました。足
を運んでく
ださった保
護者の皆様、
ありがとうございました。



そつぎょうせいだいひょう

卒業生代表のこたば

赤羽根山を明るい色が彩り始め、春の日差しが煌めく頃となりました。

本日をもって、私たち赤羽根中学校第四十期生はこの学校を卒業します。

《 中略 》

そんな一年生としての日々は矢のように過ぎていき、私たちにも先輩ができました。部活動や委員会では教わる側から教える側になり、説明の方法や関わり方を手探りで模索する人もいれば、積極的にグイグイと関わりに行く人もいました。

《 中略 》

最高学年になり、いろいろなことに『中学校最後』という言葉が付くようになりました。そんな最後の体育祭は各クラス、練習から力が入り、三年間の経験が存分に活かされたとても「楽しかった」思い出になりました。

六月に行われた修学旅行では、自分たちで巡る場所を一から決め、仲間と朝や晩を共にしました。今までとは違う経験をして、仲が深まり、トラブルもあったかもしれないけど、学びも深い3日間でした。

十月、最後の合唱祭はどのクラスも全員が合唱に本気で向き合い、良い思い出を作ろうとしていました。その結果、本番はどのクラスが優勝するか分からない最高の仕上がりになっていました。また、学年合唱「モルダウの流れ」では限られた練習時間の中で、クラスで鍛えた歌声を全員が発揮し、迫力のある力強い合唱を披露することができました。

後期になり、私たちの生活から部活動がなくなり、本気で自分の進む道について考え始め、周りの力を借りながら時間をかけて自分の道を定めました。

そして、私たちは今、胸を張ってこの赤羽根中学校を卒業しようとしています。

在校生代表の皆さん、これからは皆さんが主体となって赤羽根中学校を作っていく番です。学校の代表だからできることや感じることを大切に、色々なことに挑戦してってください。『代表』という立場に気負い過ぎず、自分たちもみんなも楽しいと感じられるようなより良い赤羽根中学校を作ってください。

お父さん、お母さん、私たちは今日、中学校を卒業します。これまでに、私たちは言葉にしきれないほどの経験をして何度も壁にぶつかりながら成長してきました。そんな成長ができたのもお父さんや、お母さんのおかげです。不安や心配もたくさんあったと思うし、迷惑もたくさんかけたけど、いつでも味方でいてくれたから私たちは安心して笑顔で学校生活を送ることができました。私たちはこれからも前へ進みます。弱気になること

だってきっとあると思います。だから、そんな時はどうか、私たちを支えてください。未来に飛び立つ私たちをそばで見守っていてください。

この三年間、私たちの学校生活をそばで支えてくださった、先生方。私たち一人ひとりに向き合い、私たちの為に多くの時間を使い、考え、行動して下さったこと、本当に嬉しかったです。先生方なしでは私たちの学校生活はもちろん成り立ちません。生徒会本部が考えた企画を実行することもできなかったでしょうし、学年レクやグリーンフェスティバルのような学年で一つになれる思い出も作れなかったと思います。休み時間に廊下で暴れまわる私たちに、共に遊びながらも根気強く話をしてくださったことも大切な思い出です。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

最後にこれまで共に過ごしてきたみんなへ。沢山の時間をみんなと過ごせたこと、他愛もないことや意味のわからないことで笑いあえたこと、本当に楽しかったし、嬉しかった。今日で中学校生活が終わってしまうけど、まだ関わっていない人やまだ知らない一面を持っている人もいると思う。だからこそ、明日から一緒に過ごせないことがたまらなく寂しい。だけど、二度と会えないわけじゃないから、これからも胸を張って堂々と過ごしていきたいと思います。またいつの日かお互いに笑顔で会うために。

この三年間を支えてくれて、私たちの学びを深めてくれた赤羽根中学校。エアコンが設置されたり、体育館が綺麗になったり色々な変化はあったけど、毎日の山登りだったり、綺麗な桜や景色、赤羽根でしか体験できないような経験を積ませていただいてありがとうございました。

そして今、この暖かな場所から新たな道へと旅立つ時が来ました。不安もたくさんありますが、私たちはきっと一人じゃない。記憶から溢れそうなほど作った思い出も、別れの涙も全て胸に抱きしめて、これからも果てしなく青い空の下、色鮮やかで煌びやかな日々を過ごすのでしょう。

最後になりましたが、赤羽根中学校にめぐる思いが赤中のバトンとして繋がっていくことを祈念し、これを答辞とさせていただきます。

令和8年3月11日

第40回卒業生代表

